

# 千年の森便り No.104

2012.05.25

ちば千年の森をつくる会

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

### 5月4日(祝日) 晴

参加会員は新井(通) 栗山、重岡、福島、真鍋 5名

臨時活動日の植物調査は快晴に恵まれ、禁断の岬-巨木林-ホテイ岬-ウメガサソウ自生地と広くじっくり調査・観察できました。森はエビネが見ごろ、ウメガサソウは蕾でした。開花が危ぶまれていたヒカゲツツジは咲き終えていることが望遠鏡で確認できました。この日合計32種を確認、うちユキノシタ科イワガラミ(千葉県:C)は豊英島初確認種(県中央博大野氏同定)です。イワガラミは近年アジサイ科に分類されていますが、千年の森では旧分類に従い当分の間ユキノシタ科で整理します。(真鍋)



エビネ(C) (2012.05.04 栗山)

### 5月20日(日) 曇

参加会員は新井(孝)、伊藤、鶴沢、小又、栗山、久我夫妻、坂本(文)、重岡、中田一家、根本、福島、真鍋、村野、森、山口の22名+体験参加者3名の計25名

午前中は、駐車場から豊英島まで林道・遊歩道を歩いてゆっくと自然観察を行い、午後からは、ブラインド建設、希少種保護柵設置、植物調査などに快い汗を流し、楽しい一日でした。



中田一家の参加でにぎやかに

## 〇清和県民の森自然観察

初の試みで清和県民の森の自然観察会、案内は坂本文雄さん、コースはキャンプ場～ロッジ村～松節橋～から豊英湖東側の奥地を経て島入口に至る6キロ強。昆虫少年の中田兄弟はジャコウアゲハなど昆虫探しに余念がなく、沢山のオトシブミ、田んぼや小川のオタマジャクシや沢ガニ集めにも大忙しでした。大人たちは時間を気にしながら、空高く咲き誇るジャケツイバラ、道端のコケリンドウ、タツナミソウ、崖に密生するケイワタバコなどに目を奪われ、予定の2時間を半時間オーバーして島に辿り着きました。

千年の森活動開始後初めて豊英湖周りの豊かな自然を観察し、10年間、井の中の蛙で過ごしてきたことに気づかされ、これからは周辺の自然にも目を向けようと思いました。(真鍋)



坂本講師の説明を聞く



左から  
ジャケツイバラ  
トラフシジミ  
タツナミソウ

## ○稀少種保護

(ツチアケビ) 広場脇のツチアケビは12月に食害犯撮影のため、保護柵(金網)を取り外していたため、今年の新芽4本を食べつくされ、手遅れでしたが、今後遅れて出る芽に期待して、金網の保護柵を設置しました。吊橋近くの保護柵には4本新芽が出ていますが、金網外にはみ出しいるので位置合わせを行いました。ホテイ岬の保護柵内は2か所とも芽が出ていないので、今年は期待薄です。

(シュスラン) シュスランの小さい芽3株を金網で保護しました。今年こそ開花を期待して。

(イチヤクソウ) マダケ保護柵内に数株の自生が認められるので、今回は保護を見送りました。

(キンラン) 07年5月に、食害で花を喰い切られ、金網で保護されていたキンランが5年ぶりに開花しているのが見つかり、ランの逞しさと忍耐強さを思い知らされました。(真鍋)



ツチアケビの保護柵の再設置



久しぶりのキンランの開花

## ○植物調査

体験参加者3名を含む4名で調査を行いました。

イチヤクソウ(蕾)、エンコウカエデ(実)、オオバウマノスズクサ(蔓大木)、オニシバリ(実)、キンラン(保護網を施した1本のみ花)、クロモジ(実)、コゴメウツギ(花)、ヒガンマムシグサ(実)、ミヤマシキミ(実)など43種類を確認しました。5月4日臨時活動日調査の結果と合わせて61種となります。(栗山)



植生調査状況



オオバウマノスズクサ



シュスラン



ウメガサソウ

## ○ブラインドが完成

先月からの継続作業で、ブラインド作りを実施し今回完成しました。作業には、村野、根本、鶴沢氏他、中田兄弟を含め多くの方々の協力を得て、竹材で囲んだブラインドが完成しました。中には穴を掘って、板を敷き利用しやすくなっています。久我(則)、中田夫人にも見てもらいました。

問題点や、今後の利用については、皆様のご意見をお伺いしたいと思っています。(久我)



力を合わせて



完成間際



中はどうなっているの

## ○野鳥観察

清和県民の森駐車場から豊英島までの約 6k 強を野鳥や植物の観察しながら歩きました。新緑の美しいこの時期は野鳥の繁殖期に当り、オオルリを始め色々な野鳥の囀りが楽しめるので、初めて企画した行事です。

結果的にオオルリの姿は見え、かなり遠くの声が微かに聞こえただけでした。その時は列が長く伸びてしまっていたので、近くにいた数名に案内出来ただけでした。以下は当日のコースで声が聞こえた種類です。オオルリ、キビタキ、ウグイス、ヤブサメ、センダイムシクイ、エナガ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、サシバ、トビ、ヒヨドリ、キセキレイ、カケスなど 坂本（文）

## ○トビの営巣について

ツガの大木で毎年営巣していたトビが今年は姿を見せません。3月頃には巣の手入れがされていたように見えたので、雛の誕生を期待していたのですが、残念です。ヨシズが目隠しを設置した昨年はずっと通りに繁殖したので、これが逆効果だったとは思いたくありません。

他の原因として、永年巣を利用していた番が死んで空き家になった。巣にダニなどの害虫が発生して繁殖に不適になったなどが考えられます。坂本（文）

## ○ニホンジカ目撃情報

千年広場の奥の巨木林エリアでニホンジカ 1 頭が目撃されました。今年は、1月・3月活動日、4月（カメラ）と続いて目撃されています。

## ○国会図書館からのお礼状

『豊英島の自然』は、会員、主な元会員、研究者、行政、関係団体、地域住民、国・県・かずさ 4 市の図書館・博物館、君津市内の小中学校・公民館などに幅広く配布・寄贈しました。

国会図書館からの受領書（お礼状）には、「御寄贈いただきました刊行物は、広く公共の利用に供するとともに、国民共有の文化的資産として永く保存してまいりたいと存じます。5月20日から蔵書検索システム（NDL-OPAC）で検索ができ、情報管理はきちんとされています。」とありました。（伊藤）

## ○かずさFMに出演

新井さんの紹介で、コミュニティ放送局「かずさFM」の看板番組「とことんかずさ」で『豊英島の自然』を紹介する機会があり、坂本さんと伊藤が出演しました。5月4日放送の一週間前に収録があり、冷や汗をかきつつ「ちば千年の森をつくる会」と豊英島の素晴らしさの宣伝に努めました。写真右端が番組パーソナリティの石村さん（社長）です。（伊藤）



収録中の坂本、伊藤の両名

## （投稿）「豊英の5月」

四街道市 高橋多美子

千年の森を機会があり訪れることが出来た。島なのに乾燥気味の林床ではエビネの大株、イチヤクソウ、スマレなどが多く見られ春の季節や秋の林の紅葉などもみごとではないかと思われた。ただ残念だったのは食害にあった植物も多く大事にしていたツチアケビの太い茎だけ三本残っていたのは哀れであった。

見たこともない太い蔓になったオオバウマノスズクサはよくぞここまで生き延びてきたものと褒めてやりたい気持ちでした。会員の長年の努力、労力に脱帽です。

夜お風呂にはいって鏡を見るとなやハレバレした顔のオバサンが映っていました。きっと豊英の里山が豊かな自然で英気を与えてくれたのでしょう。午前中の観察会も見所多く堪能いたしました。

## お知らせ

### ○6月の定例活動日：6月16日（土）

シカ個体数調査（1）、水辺清掃、新マダケナンバーリング、稀少種保護、植生調査、野鳥調査など。  
9時30分木のふるさと館駐車場集合。

### ○年会費納入

2012年度会費の納入については、下記振替口座をご利用ください。（窓口120円、ATM80円）  
ゆうちょ銀行 振替口座00100-1-358774 ちば千年の森をつくる会

### ○里山に託す私たちの未来・第9回里山シンポジウム in 市原 参加のお誘い

「里山の魅力発見—中房総の原風景を支える底ヂカラ」をテーマに市原市をメイン会場に開催されます。

期日 5月27日（日） 10：00～16：00 会場 東海大学付属望洋高等学校 外

午前は 式典・特別報告「中房総の小さな旅」など、午後は北川フラム氏の基調講演とパネルディスカッション（農民文学者遠山あきさん、佐久間市原市長ほかの登壇者）等多彩なプログラム。

各種展示や分科会も県内各地で展開されています。（詳しくは公式HP：<http://www.satochiba.jp>）